

矢部清流学園 学園だより

善遊善学

敬愛・・・人を大切に子ども
克己・・・粘り強く取り組む子ども
創造・・・主体的に活動する子ども

令和3年

3月23日

第30号

編集責任者 山口 浩史

全校児童生徒参加で第1回卒業証書授与式を挙行！

3月12日(金)に矢部清流学園の記念すべき第1回卒業証書授与式を挙行しました。コロナ禍のため、来賓の皆様方の参加をご遠慮願いましたが、在校生42名と職員や保護者と共に厳かな雰囲気の中、5名の卒業生一人ひとりに矢部清流学園の第1号から第5号までの卒業証書を手渡しました。



校長式辞では、矢部清流学園開校1年目を見事にスタートさせてくれた卒業生に感謝すると共に、重点目標であった「気づき・考え・伝える」ことを今後も続けてほしいことや池江璃花子選手のように困難に出会ってもそこから学び、目標をしっかりとって努力し続ける姿勢を学んでほしいと伝えました。その後、在校生代表のK・Aさんが、思いのこもったすばらしい送辞を贈り、卒業生答辞では、一人ひとりが、保護者や教師、在校生や矢部地区の皆様方へ感謝の言葉を贈りました。また、前期課程の児童全員による卒業生に向けた感謝の思いがこもった「あなたにありがとう」のすばらしい合唱と後期課程の生徒全員による別れを惜しむ感情があふれ出す「旅立ちの日に・・・」の合唱で卒業式に花を添えてくれました。最後に、参加者全員で矢部清流学園の校歌を高らかに歌い上げ、卒業生の門出を祝うことができました。

卒業生の5人は、それぞれ違う進路へ歩み出しています。将来に対する大きな夢や希望と同時に未知の世界に足を踏み入れる不安も胸に抱えているでしょうが、矢部地区の方々に支えられ、他の中学校ではできないすばらしい多くの体験を積んできた矢部清流学園の卒業生であることに誇りをもって突き進んでほしいと願っています。「おお 六・三星霜 健やかに！ たくましく！」

なお、地域の皆様への答辞は、裏面に掲載しておりますので、ご覧ください。

卒業生の答辞の中から地域の皆様・在校生に宛てた内容を抜粋して掲載しています。



答辞

柔らかな日差しがそそぐこの頃、春の訪れを感じます。3月12日、今日のよき日、私たち5名は、この思い出多き矢部清流学園を巣立っていきます。生まれてから15年間これまでたくさんの方々に見守られて、ここまで育ってきました。今日は、これまでの感謝の気持ちを伝えたいと思います。

地域の皆様、今まで私たちを近くで見守ってくださり、ありがとうございました。地域の皆様には、浮立、資源回収、朝の交通立ち番など、とてもお世話になりました。浮立は、矢部まつりが中止になり、校内での発表になりました。練習では、時に優しく、時に厳しく指導していただいたので、とてもいい浮立ができたと思います。私たちは、今年で最後だったけれど、自分たちで伝統を受け継ぐことができ、とてもいい経験になりました。また、朝の交通立ち番では、自分たちのために朝早くから見守ってくださり、ありがとうございました。地域の皆様は、いつも家族のように接してくださいました。他にも資源回収、ちゃりティーンズ、スポーツ集会など、地域の方々が協力してくださいました。名前を覚え、家族のように接していただいた地域の方々の温かさを忘れずに生きていきます。今までありがとうございました。

1～4年生の皆さん、義務教育学校になり、学校が始まってすぐにウォークラリーがありました。このウォークラリーは、みんなに楽しんでもらうことを考えて、一生懸命企画を創り上げました。当日みんながどんどん笑顔になっていくのを見て、楽しんでくれてよかったなと、とても嬉しく思いました。それから、昼休みはよく図書館でおしゃべりしたり、外でサッカーをしたりして遊んだのも、とてもいい思い出です。9年生に贈る会では、たくさんのプレゼント、とても嬉しかったです。これからも、みんなで仲良く元気に楽しい学校にしてください。次に5～8年生のみなさん、今年から善学科のみんなで委員会活動をするようになって、いろいろ大変なことあったと思うけれど、みんなで協力してよりよい学校づくりができてよかったなと思います。これからは、5～8年生みんながいろいろなところで新しいリーダーとなってこの学校を引っ張って行ってください。また、今年から1～9年生が同じ校舎で過ごすようになって、毎日が賑やかで楽しかったです。本当にありがとうございました。これからもみんなで協力して、仲良く元気な矢部清流学園をつくって行ってください。

今日、私たちが無事に卒業式を迎えられたのは、たくさんの方々の協力があったおかげです。これから私たちは、それぞれ自分の選んだ道を歩み大きく変わる環境の中で、勉強や部活動、新たな人間関係など思い悩むこともあると思います。そのようなときも、今までと同じように私たちを信じ、温かく見守ってください。9年間、15年間、苦楽をともにした友達と別れるのはつらいけれど、それぞれの夢に向かって頑張りたいと思います。この矢部清流学園には、数え切れないほどの思い出がありました。一旦は、この矢部村から離れて高校生活を送りますが、たまに帰ってきて成長した姿を見せられるようにしたいと思います。5名の感謝の気持ちと共に卒業の言葉といたします。

令和3年3月12日 卒業生一同